



## 「社会参加」につながる余暇活動

充実した職業生活や生活の質の向上には、適切な余暇が欠かせません。充実した余暇活動を行うためには、「自ら余暇を楽しむ力」を身に付けることが大切です。各学部の生活年齢に応じて行っている取り組みを紹介します。

### 小学部

小学部では、余暇活動そのものの楽しさを味わうことを通して、余暇活動の充実に必要な意欲や態度、習慣を養うことをねらいとしています。遊びの指導、自立活動、生活単元学習の中で、様々な活動を通して、ルールを守ることや、マナーを意識すること、楽しめる活動を広げたり増やしたりすること等に取り組んでいます。

特に、生活単元学習では、休み時間や家庭で友達や教師、家族と楽しめるよう「みんなで遊ぼう」と題し、各学年グループの実態に合わせて、新聞遊び、段ボールそりやかくれんぼ、トランプや風船バドミントンなどの活動を行っています。



〈風船バドミントン〉

### 中学部

中学部では、毎年、総合的な学習の時間に「趣味を見つけよう」の単元で、余暇を楽しむために趣味を広げる学習を行っています。今年は「英語」「ゲーム」「工作・絵画」「ダンス」の4つから、自分の興味がある活動を1つ選んで、グループごとに活動を行ったり、発表会を行ったりしました。英語やダンスでは、ALTや講師の先生に来ていただき、より専門的に楽しく活動しました。

毎年、新しい活動に取り組み、3年間で3種類の活動を体験することができます。様々な活動を経験する中で、一人一人が自分の好きなことを見付け、自分に合った楽しい活動に取り組むことで、充実した余暇を過ごすことにつながることを願って取り組んでいます。



〈英語グループ〉

### 高等部

高等部では、小学部や中学部の取組から、さらに進路先や地域生活に生かしていくための支援をしています。「職業」や「家庭」、「日常生活の指導」などの時間に自分の好きな活動や休日の過ごし方、計画的なお金の使い方、マナーなど、余暇につながる学習を取り入れています。

特に卒業を控えた3年生は、毎日気持ちよく働くための余暇活動の例として、トレーニングやダンスなどの運動、イラスト制作やミサンガ作りなどの創作活動を昼休みに行き、自分の楽しみを見付け、卒業後の余暇活動が充実するよう取り組んでいます。また、周辺地域で開催されているスポーツクラブや創作活動教室の情報を紹介し、地域の活動を知る機会としています。



〈トレーニング〉

## 進路に向けて ～高等部で大切にしていることの紹介～

高等部では、自主的・自立的な生活態度の育成、職業生活や家庭生活に必要な知識や技能、態度の育成、社会性の伸張と望ましい人間関係の育成を目指して日々の学習活動を行っています。

卒業後を見据え、**生活する力**や**働く力**が大切であると考えています。

### 生活する力

#### 家庭生活での自立を目指して

- ・規則正しい生活(食事、日中活動、睡眠等)
- ・身辺処理(身だしなみ、清潔、衣服の調節、体調管理等)
- ・家事の手伝い(掃除、洗濯、片付け等)

主として、日常生活の指導、生活単元学習、家庭科、自立活動等を通して指導

#### 社会生活での自立を目指して

- ・金銭管理
- ・時間を守る
- ・公共交通機関の利用
- ・余暇活動
- ・コミュニケーション
- ・挨拶、返事等
- ・社会のルールやマナー
- ・福祉サービスの利用

主として、国語科、数学科、職業科などの各教科、自立活動等を通して指導

### 働く力

#### 働く人としての力を身に付けるために

- ・働くことの意味
- ・働く意欲
- ・働き続ける体力
- ・丁寧な言葉遣い
- ・職場のルールやマナー
- ・職場に必要なコミュニケーション(挨拶、報告、返事)

主として、職業科、作業学習、保健体育科、総合的な学習の時間などを通して指導

#### 仕事をする力を身に付けるために

- ・作業の正確さ
- ・作業スピード
- ・作業を継続する力
- ・指示に従う
- ・仕事を覚える
- ・安全に作業をする
- ・協力して作業をする

主として、職業科、作業学習などを通して指導

## インターシップ推進委員会

1月29日(月)に本校でインターシップ推進委員会が開かれました。ハローワークや企業、福祉サービス事業所の方に参加いただき、進路についての提言や助言をいただきました。また、進路に関する最新の情報交換の場にもなりました。

### 障害者トライアル雇用

障害者トライアル雇用とは、障害のある方が、継続雇用への移行を前提として、原則3か月間(精神障害者は最大12か月)、企業との相互理解を深めながら、働いてみる制度です。トライアル雇用期間中は、労働基準法などの法律が適用され、賃金が支払われます。また、トライアル雇用が終わった後は、約8割の人が継続雇用に移行しています。

メリットは？

- ◆希望する仕事に就ける可能性や就職の機会が広がります。
- ◆企業との相互理解を深めた上で継続雇用へ移行するため、就職後も安心して仕事を続けることができます。

### 在学中に身に付けてほしいこと

- ・基本的な生活習慣、身だしなみ、挨拶、掃除
- ・感謝の気持ちを表現できること(笑顔など)
- ・決まった時間、集中できること
- ・分からないことを自分から質問できること
- ・困った時にSOSが出せること
- ・他者に迷惑をかけないこと
- ・掃除機などの家電製品が使えること

### その他の情報

- ・平成30年4月1日から障害者の法定雇用率が引き上げになります。( 2.0% → 2.2% )
- ・マーシ園八乙女では、これまで本人の希望や適性に基づいて「ステップアップ」「ばりばり」「ゆったり」の3コース制で支援を行っておられました。今年1月から、作業が難しい利用者さんが、悠々と過ごしてもらえる時間と活動メニューを提供する「ゆうゆうコース」が新設されました。